

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(1)政策	コード	名称
	24	(1)市内外を移動しやすいまちづくり

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	51	利用したい層の望みにあう形で、巡回バスが十分に利用されている
	51	③市内交通機関の利便性を高める			

(4)評価実施年度	平成 20 年度
(5)評価責任者職名	企画振興部長
(6)評価責任者氏名	中嶋 孝
(7)評価者	伊賀支所長、鳥ヶ原支所長、阿山支所長、大山田支所長、青山支所長

(9) 継続・新規 (20.21. 22.23)	コード	(10)事務事業名	コード	(11) 担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H21投入人員			主な成果(新規事業の場合は目標)		1次評価結果					
					H19 決算額	H20 予算額・補正要求額	H21 要求見込額	人	人件費	(14)指標名	指標の数値		(17) 指標の単位	(18) 評価類型	個別評価			
											(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)			(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性

(25) 1次評価修正有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善案修正の有・無	(29) 修正点	(30) 優先度区分	(31) 方向性	(32) 方向性の評価について	(33)その他の改革改善点について
----------------	---------	-----------	------------------	----------	------------	----------	-----------------	-------------------

継続	109	交通計画策定事業・交通計画推進事業	040100	企画調整課	1,231	3,461	1,490	0.5	3,600	伊賀線再生計画策定	1	—	件	I	4	4	4	3	A	現状維持
継続	110	地域公共交通会議	040100	企画調整課	57	171	504	0.3	2,160	協議成立率	100	100%	I	4	3	4	3	A	現状維持	
継続	111	行政バス運行経費(上野コミュニティバス)	040100	企画調整課	24,965	21,667	22,100	0.3	2,160	年間利用者数	51,355	50,000人	I	3	3	2	3	D	現状維持	
継続	569	行政バス運行経費	550100	伊賀支所総務振興課	11,025	11,291	15,600	0.5	3,600	収支率	16.5	12.2%	I	4	3	3	4	A	現状維持	
継続	681	行政バス運行経費	600100	鳥ヶ原支所総務振興課	3,835	4,122	4,122	0.1	720	年間利用者数	7,805	7,600人	I	4	3	3	2	B	現状維持	
継続	751	行政バス運行経費	650100	阿山支所 総務振興課	8,079	8,288	12,861	1.8	12,960	年間利用者数	8,131	8,300人	I	4	3	3	2	B	現状維持	
継続	841	行政バス運行経費	700100	大山田支所総務振興課	4,122	4,600	4,600	0.4	2,880	年間利用者数	5,255	7,000人	I	4	3	4	3	A	現状維持	
継続	939	行政バス運行経費	750100	青山支所 総務振興課	23,627	27,635	37,000	0.3	2,160	収支率	38	34%	I	3	3	3	3	C	現状維持	
継続	112	地方バス路線維持経費	040100	企画調整課	56,784	59,325	59,000	0.5	3,600	年間利用者数	245,038	223,000人	I	3	3	3	3	C	縮小	
継続	113	地域交通対策事業	040100	企画調整課	1,550	1,550	3,100	0.14	1,008	年間利用者数	2,002	3,000人	I	4	3	2	4	A	拡大	

																		3G	c	委託料のコスト削減を図る。	
																		4G	d	事務的経費	
有	必要性の3を4に修正し、総合評価のDをBとする。	評価をそろえる																2G	b	更なる利用者の増加を図る。	
有	効率性の4を2に修正し、総合評価のAをBとする。	評価をそろえる																2G	b	更なる利用者の増加を図る。	
																		2G	b	更なる利用者の増加を図る。	
																		2G	b	更なる利用者の増加を図る。	
有	達成度の4を3に、効率性の3を2に修正し、総合評価のAをBとする。	評価をそろえる																2G	b	更なる利用者の増加を図る。	
有	必要性の3を4に、効率性の3を2に修正し、総合評価のCをBとする。	評価をそろえる																2G	b	更なる利用者の増加を図る。	
有	必要性の3を4に、効率性の3を2に修正し、総合評価のCをBとする。	評価をそろえる																3G	c	更なる利用者の増加を図る。	
																		1G	b	更なる利用者の増加を図る。	公共交通空白地域の交通手段として、国との協議を踏まえ、本システムの制度の確立を図り、普及に努める。